



# 真栄

自然を愛し、風雪に耐えて立て



<https://www16.sapporo-c.ed.jp/shinei-j/>

## 第37回 入学式 ～校長式辞～

新入生の皆さん、入学おめでとう！心から皆さんの御入学を歓迎します。

中学校では昨日から新年度がスタートし、今日、こうして134名の新入生を迎えました。いよいよ、今日から皆さんは真栄中学校の1年生です。中学生になったことへの自覚と誇りをもって、いろいろなことに挑戦してください。先生方も、後ろに座っている2、3年生の先輩たちも、皆さんのやる気に応え、何でも相談に乗って応援してくれます。失敗を恐れず、「まず一歩」前へ出る勇気を奮い起こしてほしいと思います。

本日は、近隣の小学校4校の校長先生を始め、児童会館館長様、地域町内会の方々、本校や小学校PTAの役員の方々、そして、御家族が皆さんのためにこのお祝いの式に参列してくださいました。今日の日を元気に迎えることができた喜びとともに感謝の気持ちをもってください。

今日は、新しい生活への希望や決意を胸に刻む日にしてほしいと願い、皆さんに一つだけお話をします。2001年にノーベル化学賞を受賞した、当時、名古屋大学の野依教授が興味深く、私たちにも分かりやすい実験をしました。インゲンマメを使った有名な実験です。知っている人もいます。

インゲンマメは蔓を伸ばして成長しますが、自然では、蔓は右巻きです。野依教授は、三つの比較実験をしました。一つは、自然のままに育てる。二つ目は無理に蔓をまっすぐに伸ばす。これは豆にとって大きなストレスになります。三つ目は強制的に蔓を逆の左巻きにする。豆にとっては大きな逆境です。この三つの育て方で豆の収穫量を調べました。さて、一番収穫量が多かったのはどれだと思いませんか。必ずどれかに手を挙げてください。

正解は「逆の左巻き」です。自然に伸びた右巻きのものに対して、まっすぐに伸ばしたものは1.5倍、逆の左巻きにしたものは何と2倍もの収穫量になったそうです。植物にとって負荷がかかることは成長のためには、ピンチの状態ですが、それを跳ね返す力が植物にはあるのです。人間も同じではないでしょうか。ストレスや逆境を喜ぶ人はいません。しかし、それを乗り越えた時に、人は大きく成長するのです。

もう一つ知ってほしいことは、今、手を挙げてもらいましたが、正解を間違えた人もいました。学校は知らないことを学ぶ場で、間違えることは全く恥ずかしいことではないということも確認してください。

さて、皆さんは中学校3年間で、自分でも驚くほど、心身共に成長し、大人に近づいていきます。また思春期にある皆さんは、将来への不安や人間関係の難しさなどから、悩んだり傷ついたりして、一人落ち込んでしまうことも、きっとあると思います。ですから、生徒会活動や部活動に積極的に参加し、仲間と一緒に心や体を鍛えてください。歯を食いしばって流した汗や、活動の中で思わず流した悔し涙、感動・感激の涙は、何物にも代えることができない「人生の宝物」になるでしょう。仲間と競い合ったり、助け合ったりしながら、学校教育目標にある「たくましく心やさしい生徒」になってください。

御来賓の皆様、そして保護者の皆様、本日は御臨席を賜り、心より御礼申し上げます。子どもたちの健全な成長は、学校、家庭、地域、この三者の密接なつながりがあって初めて叶うものと考えております。その関係を大切にしながら、子どもたちの豊かで、主体的な学びを育むために、全教職員が一丸となって鋭意努力を進めて参ります。どうか真栄中学校に対する温かい御支援や御協力をよろしく願いいたします。

式辞の結びとなりましたが、新入生の皆さん、今日この時から自分の手で、自分の足で、思い出をいっぱい・いっぱい刻んでいきましょう。皆さんの活躍を期待して、入学式の式辞とします。

令和8年4月9日 札幌市立真栄中学校長

## 在校生代表の言葉

冷たい風が、春の香りを運んでくる季節となりました。新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

新しい環境へ足を踏み入れた今、皆さんはどんな思いでこの場にいるのでしょうか。期待や不安はもちろん、うまく言葉にできないような、もどかしさかもしれません。私は2年前、期待も不安も全部抱えてこの場に足を踏み入れました。あの頃は、目に映るもの全てが輝いて見えていました。

しかし、入学してすぐの頃は分からないことや、知らないことにあふれていて、何度も迷い、何度も立ち止まりました。そんなとき、手を差し伸べてくれたのは、いつも隣にいる仲間、背中を優しく押してくれたのはたくさんの先輩でした。

私たちが経験してきたように、皆さんがこれから歩いていく道は、想像以上に短く、時にとても辛いものです。だからこそ、今、皆さんの隣にいる仲間や、皆さんの後ろにいる2年生、3年生、そして皆さんを一番近くで支えてくれている先生方を頼ってください。必ず皆さんが道を進むための、道標になってくれるでしょう。また、皆さんが進む道には、多くの人の足跡が残っています。先が見えなくなったら、その足跡を辿ってみてください。そして、たまには、歩幅を変えてみたり、寄り道したりしてみてください。そこでしか見えない景色や、そこにしかない花を見つけられるかもしれません。

繰り返しになりますが、これから始まる3年間の道のりは、本当にあっという間に過ぎてしまいます。将来につなげられるような時間にするのはもちろんですが、まずは、後悔のないよう、とにかく楽しんで勉強や部活動、行事に全力で取り組んでください。

この3年間で、皆さんにとって思い出深い時間になることを願っています。

在校生代表

## 新入生代表の言葉

やわらかな春の日差しが心地よく感じられる季節となりました。先生方や先輩方、そして家族に見守られながら、ここ真栄中学校に入学できたことを嬉しく思います。

私たちは、これから始まる中学校生活への期待や希望に満ちあふれています。3年間の中で勉強はもちろん、部活動、委員会活動においても積極的に取り組み、真栄中学校に貢献できるよう努めていきます。新たな経験を積み重ねていくにあたり、壁にぶつかり、前への進み方が分からず立ち止まってしまうことがあると思います。そんな時は諦めるのではなく、仲間と手を取り合い、時には先生方、先輩方、保護者の皆様の力を借りながらも、少しずつ前に進めるよう努力していきます。

中学校では、勉強と部活動を頑張りたいと思っています。そのために日頃からきちんと予習・復習をして、テスト直前で慌てることのないように計画的に勉強を進めたいと思います。部活動では、基礎をしっかり身に付けて試合に出られるようになりたいです。

私たち新入生一同は、真栄中学校の生徒としての自覚、責任をもち、自立した中学校生活を送ることができるよう心掛けていきたと思います。この3年間で何となく過ごし、無駄な3年間にしないために今まで学んできたことを生かして頑張ります。

そして、夢や目標をつかむために、まだ目標が見つからない人は、自分の目標を見つけるためにも頑張っていきます。

本日は、このような素晴らしい入学式を開催していただき、ありがとうございました。

新入生代表